



インスタ映え

2017年のユーキャン新語・流行語大賞で、「村度」とともに受賞した



「インスタ映え」は流行語大賞で知った方もいるのではないのでしょうか。インスタとは、2010年に始まったスマートフォン向けの写真共有アプリ「インスタグラム (Instagram)」の略称です。2012年には、10億ドルで Facebook に買収され、インスタグラムの1カ月あたりの利用者数(月間アクティブユーザー: MAU)は2014年3月に2億人、12月3億人、2015年9月に4億人、2016年6月に5億人、2016年12月に6億人、2017年4月に7億人を突破しており、ますますペースを上げながら力強い成長を遂げています。(日本国内のMAUも2000万人を突破)

インスタとは

インスタの特徴は、なんとと言っても、撮った写真も保存されている写真も簡単に加工ができ、すぐに他のユーザーと共有できることです。特に、若い女性が飛びつきました。自撮りの顔を、瞬時に可愛くも美しくも補正できます。ママが頑張って作ったお弁当も、これまでは子どもが美味しいと言ってくれて満足していましたが、今は違います。まずインスタにアップして、みんなから「いいね」をもらえた後に、子どもたちが食べています。お弁当作りは、インスタの「いいね」のネタなのです。



お弁当のように、料理は簡単に見栄えをよくできます。簡単にアップできる見栄えのよい料理画像が、「いいね」数の増加や拡散に



つながることから、インスタグラムに写真を投稿した際に、見栄えが良かったりして映えるという意味での「インスタ映え」が社会現象となっています。今では、おいしさとは別次元の「インスタ映え」を意識したレストランも急増しています。

インスタを使ってみよう

私には、「インスタ映え」なんて関係ないと思われる方も多いと思いますが、インスタを新しい写真の楽しみ方と考えるみてはいかがでしょうか。例えば、なんでもない風景写真を、インスタで加工すると、ゴッホ風の写真にも簡単にできたり、ちょっと工夫しただけで、どこにも売っていない、お手製の芸術的な絵はがきを作ることできます。

スマホを使うだけでも大変かもしれませんが、通話や情報摂取だけを目的とせず、より豊かなシニアライフのコミュニケーションツールと考えるみてはいかがでしょうか。子どもや孫の世代は使いこなしているので、写真加工をネタに、面倒と思わずに、やりとりするのにも、インスタはおすすです。

インスタを利用する時の注意点

位置情報をオンにしていると、撮影した場所が他のユーザーにも伝わってしまいます。お店などの情報であれば、かえって宣伝になりますが、自宅で撮影した写真をアップするような時は、自宅の住所が広まってしまうことがありますので悪用されるかもしれません。位置情報をオフにしておくことも大切です。

